

# アラジン通信



第40号

2018. 2. 1

NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

## CONTENTS

- ・これからの日本と介護者支援 P1
- ・インフォメーション P2  
「ケアラズカフェ立ち上げガイド」完成  
総会。フォーラムのご案内

## これからの日本と介護者支援

2018年明け、早や1か月が過ぎました。

このほど、イギリスのメイ首相が「孤独担当相」を設置させ、42歳の若い女性大臣が任命されたとのニュースが話題となりました。イギリスでは高齢化が進み、“人口6560万人のうち900万人が常にあるいはたびたび孤独を感じており、3分の2が生きづらさを感じている”といえます。孤独は人間の肉体的、精神的健康を損ない、しかも50%が天寿を全うせず亡くなるというデータに基づき、「孤独」をなくすためのあらたな省庁を設けたのです。注目すべきは、高齢者とともに「ケアラー」の孤独や喪失（＝日常的にコミュニケーションの取れない悲しみや愛する人を失った悲しみ）に言及したところ です。

翻って日本はどうでしょうか。高齢化はますます加速し、高齢者の孤独と貧困はますます増えるだろうと予測されています。在宅介護の推奨により、家族はさらに介護の期待をかけられ、さらに社会保障制度改革により介護保険、年金など介護と経済生活の基盤は弱くなっていき、さまざまな負担が増すのではと懸念しますが、介護者自身の孤独や孤立、健康など介護者自身のQOLに注目する視点はまだありません。とにかく自助と互助＝すなわち昔からの家族力・地域力の復活と回帰を期待されつつあるのは皆さんもご存じのことと思います。（まさに日々その地域力回復に奔走しているのではあります。）

一方で、家族はますます小さく多様化し、地域や人との関係も希薄になり、さらにネット社会がもたらす排除と批判の文化が、人々の心を蝕み、見渡せば、それぞれが安全を求めて心の内の殻に閉じこもっている様子はないでしょうか。

介護者の支援をスタートして17年になります。ようやく国の政策の中に「介護者支援」の言葉は踊るようになりましたが、現場ではまだまだ介護者が切に望む施策が導き出されていないように感じています。

今年はあらたなチャレンジをします。これからの未来を担う若者たちが介護をきっかけに孤独に陥り、露頭に迷うことがないような羅針盤（＝案内所）を街にたくさん作りたい、と計画中、相変わらず夢を膨らませています。（妄想？）

今年も、さまざまな支援団体、およびつながりのある関係組織とともに、地域社会の文化そのものを変えていくムーブメントを起こしていきたいと思っています。ぜひご注目ください。そしてみなさまの地域にも波及効果が届きますよう、さらなる応援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

アラジンは、引き続き、若い世代も巻き込み、深化していきます。乞うご期待！



（理事長 牧野史子）

## 「ケアラースカフェ立ち上げガイド」完成！



長年の懸案でしたケアラースカフェを立ち上げたい方のためのガイドブックが、このほど完成しました。

現在実際に活動している3つのカフェが、どのような想いで立ち上げられたのか、またその資金をどのように調達したのか、などこれから立ち上げたい方の参考になる事例が満載。

作り方のポイントや地域での人材の掘り起こしと育成の仕方なども掲載されていますので、是非一度手に取ってご覧ください。

ご希望の方には、下記料金で販売をしています。

1冊～29冊まで 1冊 400円（送料別）

30冊以上 1冊 300円（送料別）

（お問い合わせは、アラジン事務所までご連絡ください。）

### アラジン第15回通常総会と

#### 介護者フォーラムのご案内（予告）

今年も総会とフォーラムを開催しますので、日程等ご案内します。

#### ○第15回通常総会

日時：2018年5月26日（土）

13:00～16:00

会場：新宿御苑前「東京在宅サービス 会議室」

\*総会后に、交流会を予定しております。

#### ○介護者フォーラム2018

日時：2018年7月29日（日）

13:00～16:00

会場：霞が関「日比谷図書文化館 大ホール」

それぞれの詳細は、後日ご案内します。

### ご寄付有難うございました（2017.3～2017.12）

町田市 井上 宮子 様 港区 玉澤 健児 様  
港区 植木 八千代 様

### 事務局リレーだより

去年9月から縁あってアラジンのスタッフとして参加させて頂いている荒井と申します。

最初は中野杉並ボランティア養成講座に仕事復帰のリハビリのつもりで参加しましたが、のちに「介護している人を支援する」NPOだと知りアラジンの活動に共感しました。自分もいつ両親の介護が必要になるかも分からないし、介護殺人や介護心中も決して他人事ではなく、身に振りかかることは有り得ることです。現役世代である介護者が潰れてしまう現実に恐怖を覚えます。だからこそ、それをサポートするお手伝いができることはとても意義のあることですし、今後の人生の身の振り方を模索するいい機会だと感じました。

私自身仕事を辞め2年以上ふさぎ込んでいたところで、自助グループの方にアラジンを紹介して頂き、今に至るわけなのですが、介護者の方々とは違う本来の孤立に苛まれてきた私にとっては、新しいコミュニティに参加できたことは新しい価値観に触れられる貴重な経験であり、精神的な安心感を得られました。

それもアラジンと話をつないで頂いた阿倍さん牧野理事長他スタッフの方々のおかげです。本当にありがとうございました。お役にたてるよう今後も頑張りますのでよろしくお願い致します。

（事務局 荒井良夫）

編集後記：この冬は強い寒波におそわれ、首都圏にも珍しく雪が降り積もりました。日頃雪と縁のない暮らしをしていますが、当日は電車は止まり、道路は大混乱、足元を気にしながらの数日を過ごしました。みなさまのところはいかがでしたか？ 暦の上ではまもなく立春、近く神社では早く咲きすぎた梅の花が震えていました。しばらくは寒さが続きそうですが、みなさまも小さな春を探してみませんか？  
(M. O)

発行：NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン 発行者：牧野史子

事務所：〒160-0022 新宿区新宿 1-18 -10 橋場コーポ 305号

TEL 03-5368-1955 FAX 03-5368-1956

E-mail arajin2001@arajin-care.net URL http://arajin-care.net